

第3学年1組国語科学習指導案

平成26年1月15日(水)

男子17名 女子15名 計32名

米沢市立上郷小学校 峯 あつ子

1. 単元名

「物語を読んで、しょうかいしよう ～モチモチの木～」

2. 単元目標

- (1) 登場人物に着目して同じ作者の作品を読むことを楽しもうとしている。
(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 自分が選んだ本のおもしろさを説明するために、場面の移り変わりの印象的などころや主人公の性格や気持ちの変化をとらえて読むことができる。
(読む能力)
- (3) 言葉には登場人物が考えたことや思ったことを表すはたらきがあることに気づくことができる。
(言語についての知識・理解・技能)

3. 教材について

本教材は、わかりやすい小見出しのついた五つの場面、明確な個性を持った魅力的な登場人物、緊張感のあるクライマックスと主人公の変容等が描かれており、「場面ごとの登場人物の行動や会話から、登場人物の人柄や気持ちの変化を考える」という指導事項に適した教材である。また、第3学年最後の「読むこと」の教材である。これまでに、「場面の移り変わりや展開に注意しながら読む」「物語の組み立てを考える」という学習を進めてきたことから、この学年の最終単元として、場面の展開をとらえる力、登場人物の人柄や気持ちの変化を叙述から読み取る力が定着できる教材である。

4. 児童について

明るく素直で、楽しく学習に取り組むことができる学級である。どの児童も学習課題に向かって自分なりに考え、考えたことを自分の言葉で表現しようとする意欲を持っている。音読することが好きで、場面の様子を意識しながら、声の強弱や速さなどを考えて、音読の仕方を変えることができるようになっている。特に物語では、ストーリーの中に入り込んで学習を楽しむことができる。ただし、自分の考えを文章で表したり自分の考えを発表したりすることにためらいがないものの、語彙が乏しく幼稚な言い回しが多いため、授業の中で、児童の発言の内容をさまざまな言葉で言い換えて言葉の数を増やす支援を心がけているところである。

5. 指導にあたって

《つきたい力 学習指導要領との関連》

【読むこと】

(ウ) 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基にして想像して読むこと。

《言語活動例》

(エ) 紹介したい本を取り上げて紹介すること。

《単元を貫く言語活動の工夫》

① つきたい力に応じた言語活動の選定

「私が選んだこの場面カード」を作成する。これは、場面の挿し絵を配置したカード(A4判大)の空白部分に、登場人物について自分が紹介したいことを書くものである。

紹介したいことを見つけるために、登場人物の行動や言葉に注意して読んだり、登場人物の行動から場面の様子や登場人物の人柄や気持ちの変化を想像して読んだりするようにする。

② 「楽しんで読書しようとする態度を育てる」ための言語活動の工夫

本単元では、「紹介したい場面」を見つけることを重視する。与えられた場面を受動的に理解するだけでなく、自分の「大好きお気に入り」に着目することによって主体的に場面の移り変わりや登場人物の性格や気持ちの変化などを想像して読む能力の育成を目指すものである。そのために、教材文を場面ごとにくわしく読む際に「この場面カード」を作成する活動を設定し、カードの発表によって自分の想像や解釈を友だちと交流させて、その共通点や相違点に気づくことで読書の楽しみを味わわせる。

③ 「同一作者による物語」を読むことの特徴を生かした言語活動

本単元では、指導のねらいを実現するために同一作者の物語を読むという活動を位置づける。「モチモチの木」の学習と並行して他作品を読む活動を取り入れ、教材文だけでなく齋藤隆介の他作品にも触れることで、場面の移り変わりについて想像を広げて読むことが可能になり、読書意欲を高めるものとなると考えられる。また、齋藤作品には、自分のできることをひたすら一生懸命に行う若者や少年少女が登場人物として多く登場することから、児童も同年代が主人公の物語に感情移入しやすく、その作品世界に没頭することが期待できる。そのうえで「私が選んだこの場面カード」を作成し、単元の最終活動とする。

6. 単元の指導と評価の計画

次	時	学習活動	【評価の観点】 評価規準 (評価方法)
1次	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・「モチモチの木」を読んで、感想を話し合う。 ・学習課題を確認し、学習計画を立てる。 	<p>【関】自分の感想を進んで発表したり友だちの感想を聞いたりしている。 (発表)</p> <p>【読】作品を読んで、あらすじや登場人物をとらえている。 (話し合い)</p>
2次	3 8	<ul style="list-style-type: none"> ・豆太やじさまの会話や行動から性格を押さえ、登場人物の気持ちや人柄をとらえながら読む。 	<p>【読】会話や行動に着目し、登場人物の気持ちや人柄をとらえながら読んでいる。 (発表・この場面カード)</p> <p>【読】登場人物を中心に紹介する際に必要な情報や大事な部分があることに気づいている。 (この場面カード)</p> <p>【言】言葉には登場人物が考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。 (話し合い)</p>
3次	9	<ul style="list-style-type: none"> ・豆太やじさまの人柄について感じたことを交流し、好きな場面を情景が分かるように音読する。 	<p>【読】登場人物について考えたことを交流し、一人一人の感じ方の違いに気づいている。 (発表・音読)</p>
4次	10. 12.	<ul style="list-style-type: none"> 齋藤隆介作品の中から紹介したい本を見つけ、「私が選んだこの場面カード」を書いて交流する。 	<p>【関】登場人物に着目して同じ作者の作品を読むことを楽しんでいる。 (私が選んだこの場面カード)</p> <p>【書】書いたものを読み合い、感想を述べ合っている。 (感想)</p>

7. 本時の目標

(1) 目標

「人間やさしささえあれば～」というじさまの言葉に着目して、じさまを思うやさしさから勇気ある行動をとった豆太の人柄を想像することができる。

(2) 指導過程

学習活動 [○]主な発問 [・]期待する反応	[・]指導上の留意点 [☆]評価 (方法)
<p>1 「弱虫でも、やさしけりゃ」の場面を音読し、本時の学習課題をつかむ。 (5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">豆太は、どんな子なのだろう</div>	
<p>2. 豆太の人柄について考え、意見を交流する。 (30分)</p> <p>○豆太はおくびょうだと思いますか。おくびょうではないと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜中に一人で医者様を呼びに行った。 ・モチモチの木に灯がともるのを見た。 ・また、しょんべんにじさまを起こした。 <p>○じさまは豆太のことをどう思っているでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山の神様の祭りをすることができるのは、勇気のある子どもだけだ。 ・一人で医者様呼びに行ける勇気のある子どもだ。 ・自分で自分を弱虫だなんて思うなど言っているから、豆太を弱虫だとは思っていない。 ・人間やさしささえあれば、やる時はやれる。 ・いつもはおくびょうでも、他人がびっくりするくらい度胸が出る。 <p>3. 意見交流を通じて考えた豆太の人柄について、自分の考えをカードに書く。</p> <p>○豆太はどんな子どもなのか、自分の考えを「この場面カード」にまとめましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを持たせたうえで、その根拠となる叙述にサイドラインを引かせる。 ☆登場人物について一人一人の感じ方の違いに気づいている。(発言) ・優しさがあれば、勇気をもって「やらなきゃならねえことは、きっとやるもんだ」というじさまの思いを読み取らせる。 ・じさまの言う「やさしさ」と「やらなきゃならねえこと」を豆太の具体的な行動と結びつけて考えるようにさせる。 ・気づいたことや考えたこと、想像したこと、疑問に思ったこと等を書かせるようにする。 ☆会話や行動に着目し、豆太の人柄を想像することができる。(この場面カード)
<p>4. カードに書いたことを発表し合い、豆太の人柄についてまとめる。 (10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豆太がどのような人柄か発表し合うことによって本時の振り返りをする。

第2学年1組国語科学習指導案

平成26年1月20日(月)

男子11名 女子13名 計24名

白鷹町立西中学校 八木 千佳

1 単元名 「走れメロス」

2 単元目標

- (1) 「走れメロス」を読み、人物の心情や作者のものの見方について、交流して考えを深めようとしている。(関心・意欲・態度)
- (2) 場面を選択して「人質 譚詩」と読み比べ、原作にはない部分に描かれている登場人物の言動から、人物の心情や作者の伝えたかったことについて考えを持ち、交流して深めることができる。(読むこと)
- (3) 抽象的な概念を表す語句に注意し、理解しながら読むことができる。(言語についての知識・理解・技能)

3. 教材について

本教材は、第2学年で学習する「読むこと」のまとめとなる長編小説である。第1単元、第4単元では、心情を表す言葉や描写の効果、人物の言動の意味について学習した。したがって、既習事項を生かしながら読解に取り組むことのできる題材である。

『走れメロス』は、シラーによる「人質——譚詩」を原作としているが、原作にはない場面が加えられている。そこには登場人物の孤独や苦しみ、心の葛藤など、人間の内面をより深く考えさせる描写がある。なぜその場面を作者は加えたのかを考えさせることで、作者の伝えたかったテーマについて、より意識して読み取ることができるだろう。

本教材では、作者が加えた部分の言動に表れた登場人物の心情を読み取ることにとどまらず、それを手掛かりにして、作者のものの見方について考えを広げさせたい。そうすることで、作者を意識して読む態度や、複数の作品を比較して読むことの楽しさにつなげていけるものと考ええる。

《場面と加えられていること》

- 1 王城 (メロスの人となり、王が人を殺す理由、王の孤独)
- 2 村 (結婚式の様子、メロスの未練)
- 3 試練 (精神の疲労)
- 4 復活 (メロスが走る理由)
- 5 刑場 (メロスとセリヌンティウスの告白、緋のマント)

4 生徒について

明るく素直であり、男女分け隔てなく教え合い学習を行うことができる。説明的文章の読解や文法の学習などには比較的抵抗なく取り組むことができるが、行間を読んだり、自分の言葉で表現したりすることには、男女ともに苦手意識をもっている生徒が多い。また、表現の難解そうに見える文章対した時に、読解をあきらめてしまう傾向があるため、「走れメロス」のような長編には抵抗を感じる生徒が多いと予想される。そこで、意欲を喚起するようなゴールのイメージを持たせて、活動そのものを楽しみながら取り組ませる手立てが必要である。また、グループ学習を取り入れることで自信を持たせるとともに、多様な考えに触れて視野を広げさせ、

自分の読解に生かしていく姿勢につなげたい。

5 指導に当たって

《学習指導要領との関連》

「C 読むこと」

イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。

《言語活動例》

ア 詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交流すること。

《単元を貫く言語活動》 「本の帯を作る活動」

(1) つけたい力に応じた言語活動の選定

(ア) 本教材でつけたい力

- ① 登場人物の言動の意味を考え、心情を読み取る力。
- ② 登場人物の言動から、作品全体に表れた作者のものの見方を読み取る力。

(イ) 本言語活動の特質

本の帯は、限られた小さなスペースで本のアピールをするので、内容を焦点化して読み取ることに適した言語活動である。以下の項目に視点を当てて帯を作成することで、目標の達成につながるものとする。

A 登場人物の言動の抜き出し	「走れメロス」第 いよいよ発刊 場面	C 感想 ① 原作にはないが描かれていること。 ② 作者の伝えなかったこと ③ 自分の感想 (氏名)
B キャッチコピー ※ テーマに関わるキーワードを 必ず入れる。		

(2) 必然性のある言語活動の工夫

本教材では「走れメロス」で学習した帯の作り方を生かして、「図書室の本に帯をつけよう」という最終的な目標を設定する。来年度入ってくる新入生のために、魅力的な本の帯を作成しようという目標を持たせることで、作品を深く読み込み、交流しようという目的意識が生まれることが期待される。

(3) 比較して読む楽しさを体感させる工夫

単元の初めに「アリとキリギリス」と「アリとセミ」を読み比べる学習を設定する。短く違いの分かりやすい作品の比較読みを通して、原作との違いを手掛かりに作者のものの見方が読み取れることや原作と比較する面白さ、読み込んだ後につくったキャッチコピーの深まりを体感させ、意欲をもって学習に取り組めるよう留意したい。

(4) その他

作品全体に表れた作者のものの見方に着目する手掛かりの一つとして、題材の導入部分で原作の詩と比較し、どんな部分が加えられ、詳しく描かれているかを抑えておく。

6 単元の指導と評価の計画

次	時	学習活動	【評価の観点】評価規準（評価方法）
1	1	<ul style="list-style-type: none"> 本の帯について知り、学習の見通しを持つ。 「アリとキリギリス」と「アリとセミ」を読み比べ、作者のものの見方を読み取って、キャッチコピーを作る。 	<p>【言】いくつかの本の帯を比較して、本の帯の特徴をつかむ。（ワークシートの内容）</p> <p>【関】原作と異なる部分から作者の伝えなかったことを読み取り、キャッチコピーに表そうとしている。（発言や帯の内容）</p>
2	2	<ul style="list-style-type: none"> 「走れメロス」を通読し、話の内容のだいたいをつかむ。 	<p>【読】ワークシートに沿って本文の登場人物やあらすじについてまとめている。（ワークシート）</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> 「人質 譚詩」を通読し、「走れメロス」との違いを大まかにつかむ。 	<p>【読】5つの場面について、詩と本文の違いについて大まかにつかんでいる。（ワークシート、発言の内容）</p>
	4	<ul style="list-style-type: none"> 第1場面を全体で読み取り、モデルを参考にして本の帯をつくる。 	<p>【読】登場人物の言動から心情を読み取り、話し合いの中で深めたことをもとにして本の帯を作っている。（ワークシート、発表の内容）</p> <p>【言】抽象的な概念を表す語句について意味を理解しながら読んでいる。（ワークシート）</p>
	5	<ul style="list-style-type: none"> 帯を作る場面を選択し、登場人物の心情を読み取る手掛かりになる言動を選ぶ。 	<p>【読】心情を読み取る手掛かりになる言動に3カ所以上線を引いている。（教科書）</p>
	5 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 同じ場面を選んだグループで交流し、作者の伝えなかったことは何かについて考え、本の帯のメモを作る。 	<p>【読】登場人物の言動から心情を読み取って付箋に書き出し、交流したことを生かしながら、メモを作っている。（ワークシートの内容）</p> <p>【関】自分の考えを話したり、他の考えを聞いたりして、自分の考えを深めようとしている。（話し合いの様子）</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> 本の帯を作る。 異なる場面を選んだ生徒で帯を紹介し合い、「走れメロス」の感想を書く。 	<p>【読】メモをもとに帯を作る。（帯の内容）</p> <p>【関】帯を作る上で工夫したことを発表し合い、感想を書こうとしている。（話し合いの様子、感想の内容）</p>	
3	7	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめ読んでいた図書室の本の帯を作る。 	<p>【関】既習事項を生かしながら帯を作ろうとしている。（帯の内容）</p>

7 本時の指導

(1) 目標

選択した場面に描かれている登場人物の言動から心情を読み取り、作者の伝えなかったことについて交流して深めることができる。

(2) 指導過程

段階	学習活動, [○] 主な発問, [・] 期待する反応	[・] 指導上の留意点, [☆] 評価 (方法)
導入 (5分)	1. 本時のめあてをつかむ。 ○ 本の帯にはどのような内容を盛り込むの でしたか。 ・印象に残る言動の抜き出し ・読者を誘うキャッチコピー ・感想	・1場面の帯を見ながら、確認する。
	ねらい グループで話し合ったことを参考にして、魅力的な本の帯を作ろう。	
展開 (30分)	2. 登場人物の言動とそこから読み取れる 心情について自分の考えをもつ。 (10分) ○ 線を引いた言動から読み取れる心情を付 箋に書きましょう。 ・……という気持ち。	・付箋には1枚に1種類の心情を書かせる。 ・1枚も書けない場合→心情を表す言葉に着 目させる。 ・深い読み取りをしている生徒の考えを紹介 し、全体に広げる。
	3. グループで交流し、深める。(20分) ○ グループで話し合い、キーワードを決め ましょう。 《話し合いの手順》 ① 言動と心情を発表する。 ② 作者は何を伝えたくてその場面を入 れたのか意見を出し合う。 ③ 帯に入れるキーワードを1~2つ決 める。	☆ 自分の考えを話したり、他の考えを聞いた りして、自分の考えを深めようとしている。 (話し合いの様子) ・拡大した教材文に付箋を貼りながら発表 する。 ・心情の読みの浅いグループには補助発問 ・作者の伝えたいことを読み取れない。キー ワードを決められない。 →たくさん出てきた心情に着目させる。 ・読み取りが浅い。 →付箋を準備しておき指導者が貼る。
	4. 本の帯を作るためのメモを書く。 (10分) A: 印象に残る言動 B: キャッチコピー C: 感想の下書き	☆ 交流したことを生かしながら、メモを作っ ている。(ワークシート) ・話し合いで使った付箋を見ながら書く。 ・1場面でのモデルや、使える言葉の例を板 書する。 ・手引きの入ったプリントを準備する。
終末 (5分)	5. 次時の学習内容を確認する。 ○ 次の時間はいよいよ帯を作って紹介し合 いましょう。	・交流を通して深まった生徒のメモを発表 し、全体に広げる。

<p>A 印象に残った言動を抜き出す。</p> <p>B キャッチコピーを書こう。 ※ キーワードを必ず入れて作ろう。</p>	<p>「走れメロス」第()場面 いよいよ発刊!</p>	<p>C 感想を書く。 この場面には原作にはない()が描かれています。(作者は何を伝えたくてこの場面を書いたかを考えて書く。 (自分の感想を書く。) (氏名)</p>
<p>「人を疑うのが正当の心構えなのだ わしに教えてくれたのはお前たちだ」 ……王はなぜ人を殺すのか そこには深い孤独があった……</p>	<p>「走れメロス」第二場面 いよいよ発刊!</p>	<p>この場面には原作にはない王が人を殺す理由が描いてあります。王はもしかしたら人に裏切られ、心に傷を負っているのかもしれない。 残虐な王の行為は決して許せません。でも、人を信じられないという孤独に苦しむ王を悲しい人だとも思いました。 (八木 千佳)</p>
<p>「メロスは激怒した」 ……人を信じていることができない王へ メロスの怒りが爆発する。勝つのは どちらだ。メロスは今走り始める……</p>	<p>「走れメロス」第二場面 いよいよ発刊!</p>	<p>この場面には原作にはない王が人を殺す理由が描いてあります。人は信じていいのか、疑うべきなのか……2つの正反対の考えが対立しています。 残虐な王の行為は決して許せません。メロスの行為が王を暗闇から救ってほしいと願わずにいられません。 (八木 千佳)</p>